

2008年(平成20年)

7月5日

土曜日

夕刊



朝日新聞東京本社  
 発行所：〒104-8011 東京都中央区  
 築地5-3-2 電話：03-3545-0131  
 www.asahi.com

# 40代男性 高血圧に注意

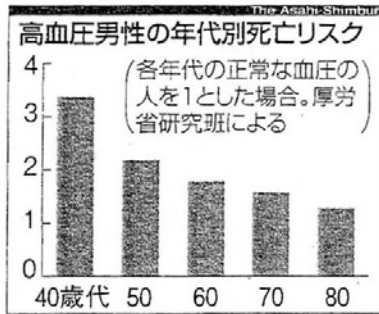
高血圧の40代男性が死亡する危険性は、正常な血圧の人の3.4倍に上がることが、全国13の研究グループの調査を統合した厚生労働省研究班の初めての解析でわかった。高齢男性では1.5倍前後なのと比べてはるかに高く、「高血圧は中年ほど要注意」という傾向が出た。

対象は40～90歳の男性約6万5千人、女性約11万人で、同種の国内調査では過去最大規模。70～90年代に血圧など健康状態をみて、その後約10年追跡したところ、男性約1万人、女性約8千人が死亡。血圧と死亡の関係調べた。

その結果、収縮期血圧120未満/拡張期血圧80未満と正常な人たちに比べ、160以上/100以上の高血圧の人たちが死亡するリスクは男性で40代が3.4倍、50代2.2倍、60代で1.8倍、70代で1.6倍、80代で1.3倍だった。女性は40代で1.4倍、50代1.9

## 死亡リスク突出

厚生労働省研究班調査



倍、60代2.1倍、70代1.5倍、80代1.2倍。男性では若い世代ほど危険性が高くなる傾向が際だった。これらの人がもし正常血圧であれば、全体の死亡者は男性で23%、女性で18%減る計算という。高血圧は塩分の多い食事や肥満、飲酒、ストレスが招きやすく、働く世代の生活習慣と関係が深い。

解析を担当した滋賀医科大学の村上義孝・特任講師は「若い世代のリスクがこれほど高いとは驚いた。血圧の異常は放置しないでほしい」と話す。(田村建二)